

資料7-2-2

2018年2月8日

株式会社建設技術研究所

消防指令システム等の相互接続試験結果について

2018年度の「消防指令システム等の相互接続に関する研究会」において、TTCにおける検討を踏まえた消防救急無線メーカー4社と消防指令システムメーカー5社を参画させ、相互接続試験を実施した。

表 相互接続試験 組み合わせ日程一覧表

		指令台				
		NEC	OKI	FG	HS	FJ
無線	NEC		1/21		1/10	
	OKI			1/10		12/26
	FG	12/17,18			1/23	
	HK		12/20			1/28

(1) 相互接続試験結果

相互接続試験は、「相互接続試験手順書」に基づいて実施した。

相互接続試験結果の詳細は別紙1の通り。

相互接続試験結果として、確認シーケンス通りであることが確認されたため、必要な場合に予定していた2回目の相互接続試験は実施しない。

(2) 課題

相互接続試験の結果において、「共通インターフェース仕様(案)」の修正、追記が必要であることが課題として各メーカーから提案されているところである。

課題詳細は別紙2の通り。

以上

相互接続試験実施結果(まとめ)

認識確認

No	指摘者	試験番号	確認内容	対応
1	12/17 NEC-FG試験	1-1-1/2-1-1	通信開始終了通知の着信先番号に記載の「*」について、ワイルドカードではなくアスキーコード[0x2A]であることを確認	共通インターフェース仕様書および別紙_機能別シーケンス図に注記を記載(共通インターフェース仕様書第0.04版、別紙_機能別シーケンス図 第0.12版)
2	12/17 NEC-FG試験	1-2-1/2-2-1	規制制御要求、規制制御状態通知内のユーザーオクテットの要否について、規制をかけるときは要求、状態通知共にユーザーオクテットを1バイト以上付けること。規制を解除するときは状態通知のみユーザーオクテットなしで通知することを確認しました	対応無し
3	12/26 FJ-OKI試験	1-8-1/2-8-1	障害通知後、そのままの仕様となっているため、試験終了後に障害通知で「正常」を通知する必要があります	相互接続試験試験仕様書に「試験終了後は障害通知を正常に戻すこと」の記載を追記(相互接続試験試験仕様書第1.4版)
4	12/26 FJ-OKI試験	1-1-1/2-1-1その他	一斉音声通信の試験終了後、通信切断の通知を行わないと通信中の状態が残ってしまうため、通信終了の通知を行う必要があります	相互接続試験試験仕様書に「試験終了後は無線系装置から「通信開始/終了通知」で通信終了を送信し通信アイドル状態に戻すこと」の記載を追記(相互接続試験試験仕様書第1.4版)
5	1/10 HS-NEC試験	1-1-1/2-1-1	通信設定要求の「予備」はアスキーコード[0x20](スペース)ではなく、アスキーコード[0x30](O)であることを確認	対応無し
6	1/10 HS-NEC試験 1/21 OKI-NEC試験	1-1-2/2-1-2	指令制御装置と移動局の双方がプレスONの時、指令制御装置がプレスOFFしたタイミングで無線回線制御装置から再度発信者番号通知ONを再度送出することを確認	対応無し
7	1/21 OKI-NEC試験	1-8-1/2-8-1	シーケンス図7.2.2.2(1)に記載の状態要求の「CHコード」は、キャラクターの[001]ではなく、キャラクターの[999]である事を確認しました。	対応無し

課題

No	指摘者	試験番号	課題内容	対応
1	12/17 NEC-FG試験		規制情報の重複要求時の動作について、回線制御装置の動作を確認する必要あり	共通インターフェース仕様書の課題表に追記
2	1/10 FG-OKI試験	1-8-1/2-8-1	同じ電文が2回続けて通知もしくは要求された場合、それぞれの装置でどのような扱いとすべきか協議が必要	共通インターフェース仕様書の課題表に追記
3	1/10 FG-OKI試験	1-6-1/2-6-1	基地局選択通知で別基地を指定する場合、一度選択を解除してから選択する通知が出る。 解除から通知までの間の時間の規定や、選択基地が通知されるまでの間の操作制限等協議する必要あり	共通インターフェース仕様書の課題表に追記